

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和5年12月27日(2023.12.27)

【国際公開番号】WO2021/132592

【出願番号】特願2021-567688(P2021-567688)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00(2006.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 K 31/496(2006.01)

A 6 1 K 31/437(2006.01)

A 6 1 P 43/00(2006.01)

C 1 2 Q 1/02(2006.01)

C 1 2 Q 1/6839(2018.01)

C 1 2 Q 1/6844(2018.01)

G 0 1 N 33/50(2006.01)

G 0 1 N 33/68(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/437

A 6 1 P 43/00 1 0 5

C 1 2 Q 1/02 Z N A

C 1 2 Q 1/6839 Z

C 1 2 Q 1/6844 Z

G 0 1 N 33/50 P

G 0 1 N 33/68

20

【手続補正書】

30

【提出日】令和5年12月19日(2023.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

G P X 4を阻害する化合物を有効成分として含有し、がん患者由来の試料に含まれるがん細胞においてS W I / S N F複合体因子の機能抑制が検出されたがん患者を治療するための治療剤である、がん治療剤。

40

【請求項2】

G P X 4を阻害する化合物を有効成分として含有し、がん患者由来の試料に含まれるがん細胞においてS W I / S N F複合体因子の機能抑制が検出されたがん患者に投与するための治療剤である、がん治療剤。

【請求項3】

がん細胞の、G P X 4阻害剤に対する感受性を予測する方法であり、

がん細胞におけるS W I / S N F複合体因子の機能抑制が検出されたがん細胞を、G P X 4阻害剤に対して感受性があると予測する工程、を含む、方法。

50

【請求項 4】

がん患者の、G P X 4 阻害剤による治療に対する感受性を予測する方法であり、
がん患者由来の試料に含まれるがん細胞において S W I / S N F 複合体因子の機能抑制
が検出されたがん患者を、G P X 4 阻害剤による治療に対して感受性があると予測する工
程、
を含む、方法。

【請求項 5】

G P X 4 阻害剤によるがん治療の対象とするがん患者を選別する方法であり、
がん患者由来の試料に含まれるがん細胞において S W I / S N F 複合体因子の機能抑制
が検出されたがん患者を、G P X 4 阻害剤によるがん治療の対象として選別する工程、
を含む、方法。

10

【請求項 6】

S W I / S N F 複合体因子の機能抑制が検出されたがん細胞の増殖を抑制する方法であ
り、
ヒトの体内以外において、 G P X 4 阻害剤と、前記 S W I / S N F 複合体因子の機能抑制
が検出されたがん細胞とを接触させる工程、
を含む、方法。

【請求項 7】

S W I / S N F 複合体因子の機能抑制が検出されたがん細胞を含むがんの治療に用いる
化合物のスクリーニング方法であり、
G P X 4 を阻害するか否かを指標として化合物を選別する工程、
を含む、方法。

20

【請求項 8】

前記 S W I / S N F 複合体因子が B A F 複合体因子である、請求項 1 又は 2 に記載のがん
治療剤。

【請求項 9】

前記 S W I / S N F 複合体因子が B A F 複合体因子である、請求項 3 ~ 7 のうちのいず
れか一項に記載の方法。

【請求項 10】

前記 S W I / S N F 複合体因子が、S M A R C A 2、S M A R C A 4、A R I D 1 A、
A R I D 1 B、A R I D 2、及び B C L 1 1 B からなる群から選択される少なくとも 1 種
である、請求項 1 又は 2 に記載のがん治療剤。

30

【請求項 11】

前記 S W I / S N F 複合体因子が、S M A R C A 2、S M A R C A 4、A R I D 1 A、
A R I D 1 B、A R I D 2、及び B C L 1 1 B からなる群から選択される少なくとも 1 種
である、請求項 3 ~ 7 のうちのいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

前記 S W I / S N F 複合体因子の機能抑制が、前記 S W I / S N F 複合体因子を構成因
子とする S W I / S N F 複合体の活性低下及び / 又は前記 S W I / S N F 複合体因子の発
現低下である、請求項 1 又は 2 に記載のがん治療剤。

40

【請求項 13】

前記 S W I / S N F 複合体因子の機能抑制が、前記 S W I / S N F 複合体因子を構成因
子とする S W I / S N F 複合体の活性低下及び / 又は前記 S W I / S N F 複合体因子の発
現低下である、請求項 3 ~ 7 のうちのいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

前記 S W I / S N F 複合体因子の機能抑制が、前記 S W I / S N F 複合体因子の遺伝子
の機能欠失型変異である、請求項 1 又は 2 に記載のがん治療剤。

【請求項 15】

前記 S W I / S N F 複合体因子の機能抑制が、前記 S W I / S N F 複合体因子の遺伝子
の機能欠失型変異である、請求項 3 ~ 7 のうちのいずれか一項に記載の方法。

50